

## 埼玉県内主要産業動向調査(産業天気図) - 2017年1~3月期 -

調査対象：県内企業 567 社

調査方法：アンケート方式 (2月中旬 郵送回収)

回答企業：234 社(回答率 41.3%)

業種別内訳：製造業 142 社 非製造業 92 社

### 概況

今回の産業天気図は、曇り空が大半を占めるものの、やや晴れ間が広がる空模様となっている。

製造業では、加工組立型産業が持ち直している。内訳をみると、**鉄鋼・非鉄金属**は原材料価格の上昇や中国からの輸入品の影響を受け「曇り一部雨」へ、**電気・情報通信機器**は設備投資の停滞から「曇り」へ、各々後退している。一方、**金属製品**は内外での自動車部品の需要増加から、**一般機械器具**は動力伝達・同装置部品などで円安による受注改善から、**輸送用機械**は国内での新車効果や中国での小型車減税効果による受注の増加から、**精密機械**は医療用光学機器を中心に需要が堅調なことから、いずれも「晴れ一部曇り」へ好転している。また、**印刷・同関連業**も商品パッケージ等の受注が堅調なことから、「曇り」へ持ち直している。

非製造業では、**一般建設**は受注が前四半期に伸びた反動もあり「曇り」へ後退している。

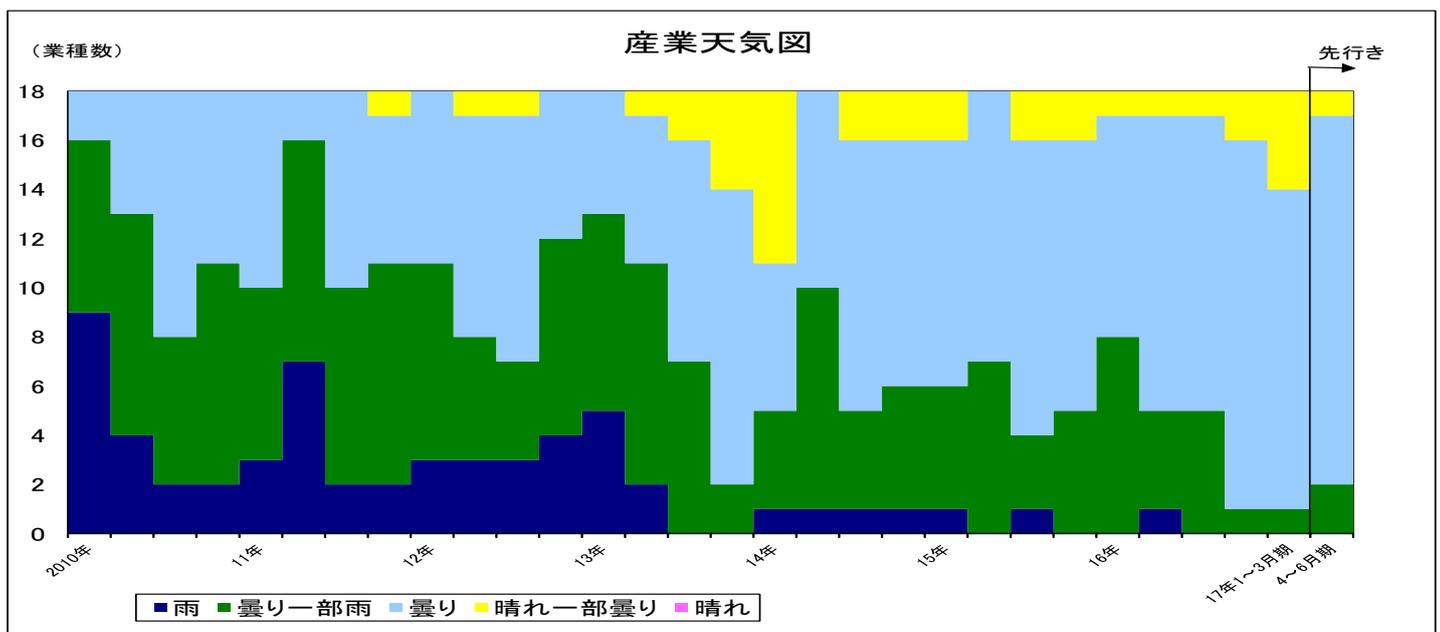
先行きについては、晴れ間が微かとなり、曇り一部雨が僅かに広がる見通しである。

製造業では**鉄鋼・非鉄金属**が新車・モデルチェンジ車の需要拡大の浸透から「曇り」へ持ち直す見通しである。一方、**一般機械器具**や**輸送用機械**と**精密機械**は年度末需要の解消などから、いずれも「曇り」へ後退する見通しである。また、**電気・情報通信機器**は受注確保が不透明なことから、**印刷・同関連業**は原材料価格の上昇が予想されることから「曇り一部雨」へ、各々後退する見通しである。

非製造業では、天気に変化する業種はない。

天気図別の業種数

区分	晴	晴れ一部曇り	曇り	曇り一部雨	雨
2016年 10~12月期(前回)	0	2	15	1	0
2017年 1~3月期(今回)	0	4	13	1	0
2017年 4~6月期(先行き)	0	1	15	2	0



天気マーク	晴	晴れ一部曇り	曇り	曇り一部雨	雨
SI	100 以下~50 以上	50 未満~20 以上	20 未満~-20 超	-20 以下~-50 超	-50 以下~-100 以上

(注) 天気マークと BSI 基準の目安